

豊明市行政評価制度 「施策」 評価票

施策評価票番号28

1 ■ 施策の概要

1－1 施策の名称	交通対策				基本施策コード	3－1－2		平成 2 2 年度評価 （前期の成果）	平成 2 7 年度評価 （全期間の成果）	● 施策評価の判定基準 A ： 施策の目的を効果的に達成しているので継続する B ： 施策推進の実施手法等に改善の必要がある		
1－2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	産業振興課	評価票作成者	産業振興課長 原田 昇						
1－3 総合計画における施策の体系	①節	都市基盤・産業振興「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり										
	②項	道路・交通										
1－4 施策の目的	バス路線や鉄道駅が整備され、多くの市民が移動しやすいと感じる交通環境を整えるため。								担当課評価			
1－5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名		前期（平成 1 8 年度～平成 2 2 年度）			全期間（平成 2 3 年度～平成 2 7 年度）						指標の定義
			目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（％）	目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（％）				
	①	鉄道の利便性	7 0 . 0 （％）			7 5 . 0 （％）						
②	路線バスの利便性に対する満足度	5 0 . 0 （％）			5 0 . 0 （％）							
③	ひまわりバスの利便性に対する満足度	6 0 . 0 （％）			7 5 . 0 （％）			利用者から見た運行状況の充実状況を表す指標				

2 ■ 施策推進の状況

2－1 施策全体に係る合計コストの推移（千円）		平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	直接事業費	34,212	34,451								
	人件費	2,010	2,002								
	合計コスト	36,222	36,453								

3 ■ 施策の担当課による評価結果

3－1 評価結果	単年度 担当課評価	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
		☒ 良好に進展 ☐ 良好でない	☒ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない
3－2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識			既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方			施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価			
	平成18年度	高齢者利用を考慮した運行時刻表を検討する必要がある。			運行の安全対策と高齢者利用者への配慮を優先させる。			路線の延伸に伴う時刻表の改正を行ったことにより利便性は増した。			
	平成19年度	現状の 2 台体制では路線や運行時刻表を見直すことは難しいが、今後根本的な見直しを検討する必要がある。			〃			路線見直しや往復運行への要望はいくつかあったが、それに対する対応は現状では難しい。			
	平成20年度										
	平成21年度										
	平成22年度										
	平成23年度										
	平成24年度										
	平成25年度										
	平成26年度										
平成27年度											

4 ■ 参考情報

[illegible]